

町田市立陸上競技場観客席増設について

1. 趣旨・背景

2018年第1回町田市議会定例会において、本年度当初予算に計上した「観客席増設実施設計委託料」に係る整備工事費の「町田市負担」予定額が未だ過大であり、市民に理解を得る情報提供の徹底と最大限に町田市負担の圧縮を求めるとの附帯決議を受けました。このことを受けまして、課題解決に向けた取り組みについて、報告するものです。

2. 課題解決に向けた取り組みについて

(1) 整備工事に関する情報提供について

町田市立陸上競技場観客席増設整備事業につきましては、市民の皆様には理解をいただけるように、工事の目的や2018年3月に完了した基本設計の概要を町田市ホームページに掲載しました。また、7月1日号の広報まちだにおいても、市民の皆様には工事の目的等を周知する予定です。

今後につきましても、事業の進捗に合わせて町田市ホームページや広報まちだ等により情報提供を行い、事業への理解を深めていただくよう対応いたします。

(2) 整備工事費の町田市負担分の圧縮について

① 国、東京都、関係団体等の各種補助金等の探求

文部科学省をはじめ他省庁、東京都や関係団体等の補助制度に関する調査を行いましたが、観客席増設に活用できる補助制度はございませんでした。引き続き、国及び東京都等に制度改正を含め既存施設の改修に対する支援を要請してまいります。

② 当該サッカーチーム運営会社の興業主としての努力（資金面等）勧奨

F C町田ゼルビアは、これまでに無料シャトルバスの運行による交通アクセスの改善、市民感謝デーの開催及び町内会自治会への観戦招待によるスポーツ振興、キッチンカー出店における市内業者優先など経済振興に取り組んでいます。

現在、さらなる取り組みを展開できるように、F C町田ゼルビアと調整を進めています。

また、F C町田ゼルビアのスポンサーと共に、チームの人気を高め、多くの人が集い楽しめるスタジアムにする方策や、F C町田ゼルビアの存在を契機としたまちの活性化策の検討を開始しました。

③ 民間資本（スポンサー増強、ネーミングライツ等）の活用

財政負担の軽減を図るため、2019年シーズンに向けて、増席する椅子の背もたれ等を利用した広告事業やネーミングライツを活用できるよう検討を行っています。

④ 当該事業における費用対効果を最大限にする投資額の適正化

整備工事費については、基本設計のなかで、延床面積を縮小する等により削減を図ってまいりましたが、現在行っている実施設計のなかでも、適正化に努めていきます。

また、整備した陸上競技場が最大限に有効活用されるように、Jリーグ以外のスポーツやその他のイベントの主催団体・企業にもアプローチして、集客力のある試合等を誘致いたします。